

No.	意見者	該当資料	該当ページ	当該箇所	提案・意見等	対応
4-1	小野寺委員	全般	全般	全般	施策の公表・展開についてのマニュアルがわかりにくい。	各施策の説明については可能な限り平易な記述を心掛け、併せて必要に応じ図表やイラスト等を用い、市民の皆様にとって分かりやすい計画書となるよう努めます。また、計画概要版を作成し、市民に分かりやすく公表して周知に努めます。
4-2	小野寺委員	1-1	46～48	2 基本目標と施策目標	高齢障害者への支援に対して、具体的に表現して欲しいと思います。はっきりした施策目標を追加して頂けたら嬉しいです。	51頁「地域包括ケアシステムと地域共生社会」に、高齢者と障害者が共に利用している共生型サービスなど、高齢者のみならず、生活上の困難を抱える障害者や子ども、生活困窮等の多様で複合的な地域生活課題に対する包括的な支援体制・地域づくりについて記載しています。
4-3	小野寺委員	1-2	60・61	カ) 高齢者ふれあいの家開設・活動支援	高齢障害者は、比較的交流少なく行動範囲も狭いと思います。はっきりとした受け入れ、支援の表現があれば高齢障害者はよりよく利用しやすくなると思います。	ふれあいの家は高齢者の方であれば、障害の有無に関わらず自由にご参加頂けますが、高齢障害者の方への支援については、各開設者により対応が異なるため記載が困難な状況にあります。しかし、各開設者に対して、利用を希望される高齢障害者の方への支援にも可能な限り努めるよう働きかけて参ります。
4-4	小野寺委員	1-3	82～85	(1)地域包括支援センターの機能強化	高齢障害者に対して、機能の範囲がよくわからない。積極的な訪問とかコミュニケーション保障など明記して頂ければ、相談しやすい環境になると思います。	P83のイ) 高齢者なんでも相談室の役割にありますとおり、まずは高齢者なんでも相談室に相談いただき、内容に応じ適切なサービスや機関、制度の利用につなげます。相談いただいた際は、相談者に適した方法で対応しています。なお、訪問しての対応などは、高齢者なんでも相談室チラシや流山市ホームページに記載し周知しております。
4-5	小野寺委員	1-4	87	④緊急通報装置の給付	設置件数は年度の数値ですか？登録件数、わかりますか？年々高齢者増加するはずなのに、計画値が変化なしのは不自然だと思えます。高齢障害者に対してなら、需要は高くなると思えます。	設置件数は各年度に見込まれる新規設置件数です。令和2年9月30日現在の登録件数は156件です。緊急通報装置の設置対象者は発作性の持病をお持ちのひとり暮らし高齢者とさせていただきます。各年度により設置件数が異なることから過去の実績を踏まえて計画値を設定しております。